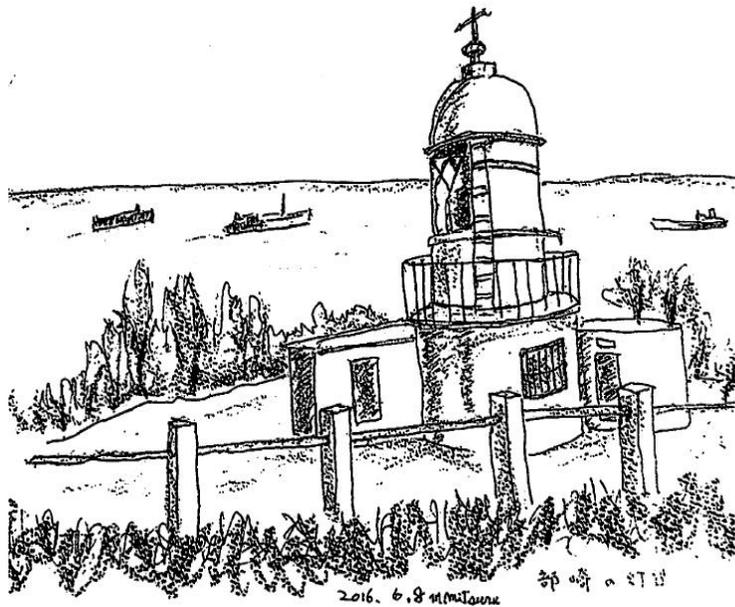


週報2022年7月31日



2022年教会標語聖句

起きよ。光を放て。あなたの光が来て、
主の栄光があなたの上に輝いているからだ。

イザヤ書60章1節

シオン教会信仰指標～人生が変わる！御言葉の光に照らされて～

日本アッセンブリーズ・オブ・ゴッド教団

北九州シオン教会

牧師：山崎銀次郎

<http://jesus.holy.jp/>

〒800-0038 北九州市門司区大里原町 6-10

TEL 093-381-4395(FAX...4396)

牧師携帯 090-6737-5276



礼拝順序 2022年7月31日

ピアノ：赤松姉 オルガン：力丸勝子師

司会：畑中姉 献身の祈り：小松姉 メッセージ：山崎銀次郎牧師

開会の祈り		司会者
信仰告白	使徒信条・標語聖句唱和	
賛美	新聖歌 19「救いをなし給う」	
祈 禱	* 今日までのめぐみに感謝し、新たな献身を祈りましょう！*	
献身の祈り		小松 姉
賛美	新聖歌 325「歌いつつ歩まん」	
賛美	コーラス 16A「神の全能の力」・B「信じる者には」	
聖書朗読	ルカの福音書 10 章 33～37 節	
説 教	「憐れみを知る」	山崎銀次郎 牧師
応答の祈り		
頌 栄	「主の祈り」	
祈 禱		山崎銀次郎 牧師

交わりの三省

- *互いに愛し合っていますか
- *互いに赦し合っていますか
- *互いに祈り合っていますか

説教要約

ルカの福音書10章33～37

「憐れみを知る」

この話で出てくるキーマンは良きサマリヤ人のようですが、実は律法の専門家です。イエス様は良きサマリヤ人の例え話を通じて、彼が悟りを得る事を願っています。イエス様は彼の心の内に潜む人間性を見抜いて彼との対話を進めています。彼はイエス様によって内に潜む人間性が浮き彫りにされて行きます。その人間性とは、ルカによる福音書がたびたび取り上げている、“自分を義認し人を蔑む”事です。イエス様が願っている事は人を“蔑む”事ではなく“憐れむ”事です。

今日のテーマであり、この例え話の一つ、キーになる言葉は“かわいそうに思い”です。強盗に暴行され旅人はひん死の状態になりました。それを見つけた通りすがりのサマリヤ人は、彼をかわいそうに思い、介抱し、宿に連れて行きました。そしてその宿泊代を全部支払いました。この“かわいそうに思い”という言葉は放蕩息子の“父”が息子を見つけた時にも使われています。(ルカ 15 : 20)

この感情は内臓が驚掴みにされ揺さぶられるほどの強い感情と言われています。つまり過去の経歴とか、以前の関係のしがらみとか関係なく、単純に相手の命を尊ぶ様、それが“かわい

そうに思う”という状態です。

この事を一つの言葉に凝縮すると“憐れむ”という言葉になります。イエス様は以前の経歴とかもっとうなら過去の過ちとか関係なく自分の全てを懸けて私達を愛して下さいました。それはただ神が与える永遠の命を知ってほしかったからです。私達が本当に知らなければならないのは、多くはありません、一つだけです。

この例え話の中で一番大切なイエス様の言葉は「あなたも行って同じようにしなさい。」です。このイエス様の一連の話を通じて、“律法（聖書）をどのように読んでいるか”試されています。この箇所は実は厳しい箇所の様に思います。つまり聖書を知っているだけでは天国行きの保証にはならないということです。聖書を知ると言う事は憐れみを知ると言う事です。そして憐れみを知ると言う事は行って同じようにすると言う事です。この事を一言で要約するなら、イエス様が私達を愛したように互いに愛し合う事です。それが神の国であり教会です。今、私達が受けている憐れみを感謝し、私という器を通じて伝える者と変えられてまいりましょう。